



ターンアラウンド 1&2 型伝票印刷 5 説明書（既存システムへの組み込み編）

日本システム開発株式会社

<http://www.nsgd.co.jp/nsd/>



改訂履歴

版数	内容	改訂日
1.0	新規作成	2013/8/16



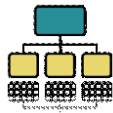
目次

1. 現在のシステム確認.....	4
2. バッチ処理による自動化	6
2-1. 設定ファイルの作成	6
2-2. バッチファイルの作成.....	6
2-3. バッチファイルの実行.....	10
2-4. コマンドラインの実行.....	11
3. 登録商標または商標.....	13



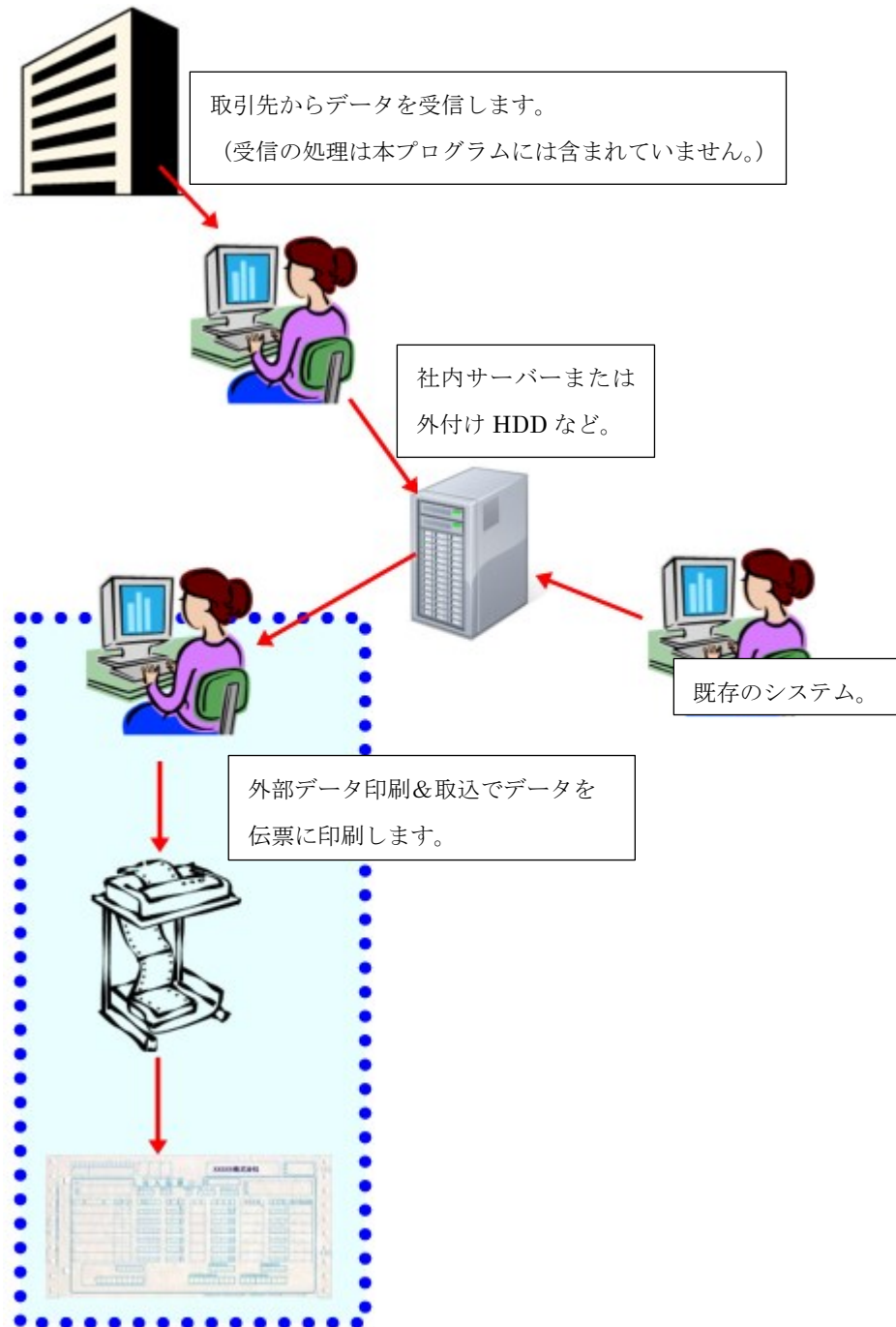
1. 現在のシステム確認

「外部データ印刷&取込」はデータを読み込み伝票に印刷するプログラムです。既存システムで出力したデータを本プログラムで使用することで伝票に印刷します。



既存システムの確認

システムへの組み込みイメージ。





- 1 - 1. 既存のシステムで、データファイル[CSV(comma-separated values)形式またはレコード単位形式のファイル]が作成または受信できるかを確認します。
- 1 - 2. 使用するパソコンから伝票が印刷可能なドットインパクトプリンターに印刷ができるかを確認します。
※本プログラムの動作環境は、説明書（導入編）を参照してください。



2. バッチ処理による自動化



2-1. 設定ファイルの作成

2-1-1. 読み込みデータ構造などの情報が含まれている設定ファイルを作成します。作成方法は「説明書（運用編）」の[設定ファイルの作成]を参照してください。

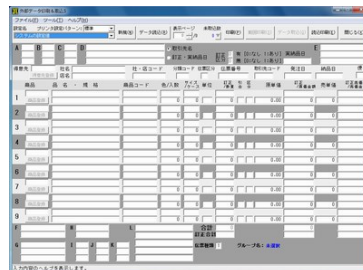


2-2. バッチファイルの作成

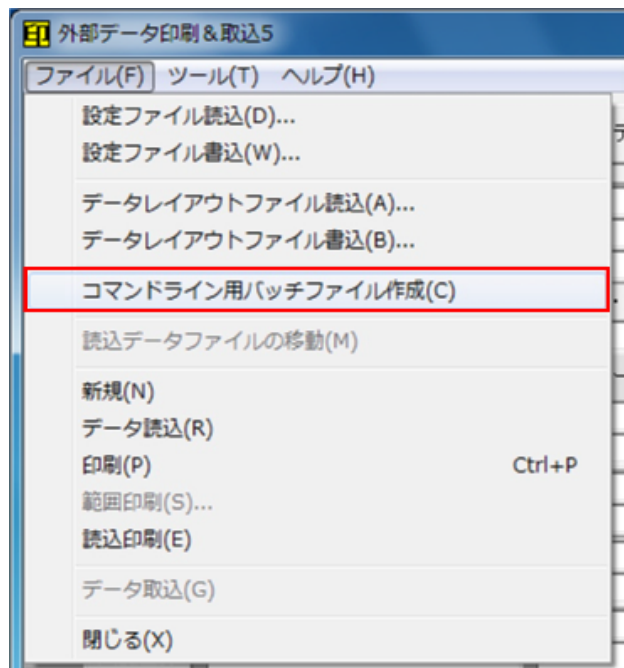
ここで作成するバッチファイルは、データファイル名が固定のファイル名です。
※データファイル名が固定でない場合は、プログラムを起動してデータを読み込むか、既存システムで読み込むデータファイル名を指定してコマンドライン実行をする必要があります。（コマンドライン実行は[コマンドラインの実行]を参照してください。）

2-2-1. [外部データ印刷&取込]を起動します。

[伝票メニュー]-[12.外部データ印刷&取込]をクリックします。



2-2-2. メニュー-[ファイル(F)]-[コマンドライン用バッチファイル作成(C)]を選びます。





[コマンド用バッチファイルの作成]が開きます。

2-2-3. [設定ファイル名(F)]を入力します。

<参照>ボタンでファイルを選択します。



2-2-4. [既定のデータファイル(D)]を入力します。

＜参照＞ボタンでファイルを選択します。

2-2-5. [プリンタ設定パターン(P)]を選択します。

※プリンタが複数の場合は、プリンタ設定パターンで切り替えます。



2-2-6. バッチファイル名を入力します。

コマンドライン用バッチファイルの作成

設定ファイル名(E) 参照

D*受信情報*受信設定*設定ファイル*〇XΔスーパー.TDI

既定のデータファイル(D) 参照

D*受信情報*受信データ*〇XΔスーパー*受信データ*RDData.JCA

プリンタ設定パターン(P): 標準

バッチファイル名

作成フォルダ

☒ デスクトップ

☐ 指定フォルダ

ファイル名: 〇XΔスーパー受信データ印刷

作成 キャンセル

2-2-7. バッチファイルを作成します。

コマンドライン用バッチファイルの作成

設定ファイル名(E) 参照

D*受信情報*受信設定*設定ファイル*〇XΔスーパー.TDI

既定のデータファイル(D) 参照

D*受信情報*受信データ*〇XΔスーパー*受信データ*RDData.JCA

プリンタ設定パターン(P): 標準

バッチファイル名

作成フォルダ

☒ デスクトップ

☐ 指定フォルダ

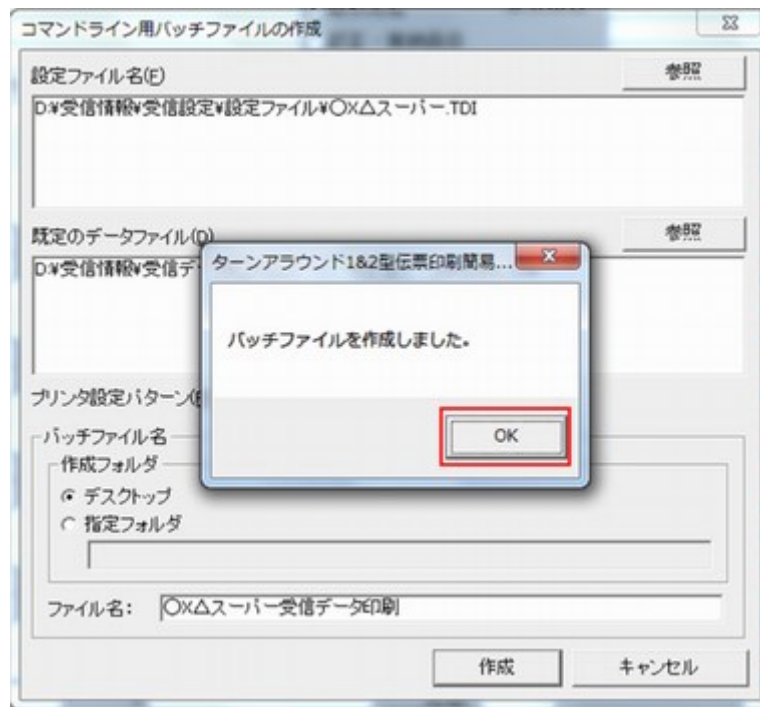
ファイル名: 〇XΔスーパー受信データ印刷

作成 キャンセル

<作成>ボタンをクリックします。



2-2-8. バッチファイルを作成したメッセージボックスが表示されます。



<OK>をクリックします。



2-3. バッチファイルの実行

2-3-1. 取引先からデータを受信します。

2-3-2. プリンターに伝票用紙をセットします。

2-3-3. 2-2.[バッチファイルの作成]で作成したバッチファイルを実行します。



2-4. コマンドラインの実行

ここでは、コマンドライン実行を行うための指定方法を記述します。
バッチファイルを作成する場合は、指定内容でファイルを作成します。

2-4-1. コマンドラインでの指定内容。

T12Pro5.exe /F:"設定ファイル名(*.TDI)" /D:"データファイル名" [/P:プリンタパターン番号]

2-4-2. プログラムのインストール先を確認します。

ここでは、「ターンアラウンド 1&2 型伝票印刷 5」が「C:\Program Files\ターンアラウンド 1&2 型伝票印刷 5」にインストールされていると仮定します。

※インストール先が不明な場合は、[バッチファイルの作成①]で実際にバッチファイルを作成して、作成したバッチファイルをメモ帳で開いて確認します。

2-4-3. 設定ファイル(*.TDI)を確認します。

ここでは、設定ファイルを「D:\受信情報\受信設定\設定ファイル\〇×△スーパー.TDI」で説明します。

2-4-4. データファイルを確認します。

ここでは、データファイルを「D:\受信情報\受信データ\〇×△スーパー\受信データ\RData.JCA」で説明します。

2-4-5. プリンタパターン番号の確認。

プリンタパターン名とプリンタパターン番号の表を下に示します。

プリンタパターン名	プリンタパターン番号
標準	0
パターン 1	1
パターン 2	2
パターン 3	3
パターン 4	4
パターン 5	5
パターン 6	6
パターン 7	7
パターン 8	8
パターン 9	9
パターン 10	10



2-4-6. コマンドライン内容の作成。

上記の内容より、コマンドラインの内容は下に示す内容になります。

”C:¥Program Files¥ターンアラウンド 1&2 型伝票印刷
5¥T12Pro5.exe” /F:”D:¥受信情報¥受信設定¥設定ファイル¥○×△ス
ーパー.TDI” /D:”D:¥受信情報¥受信データ¥○×△スーパー¥受信デー
タ¥RData.JCA” /P:0

2-4-7. 実行について。

バッチファイルを作成して実行するか、既存システムから Shell 起動で
実行させます。



3. 登録商標または商標

この文章に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。